

Nara Prefectural University Campus Journal

2015.10 創刊号

■ 巻頭エッセイ

創成期の難しさを
楽しさに転化する

公立大学法人 奈良県立大学 理事長 北岡伸一

■ 特集

学習コモンズ
シニアカレッジ
オープンキャンパス
学生の活動紹介





新校舎「地域交流棟」

の奈良県立短期大学の創設に遡ります。平成2年4月に4年制大学として奈良県立商科大学を設立し、商学部を設置しました。平成13年4月には、校名を奈良県立大学に改称し、商学部を改組転換して地域創造学部を設置しました。短大創設以来、一貫して夜間での教育を行ってきましたが、平成19年4月より昼間部に移行しました。平成26年4月には、他大学には例を見ない独自の教育システムとして「学習コモンズ制」を導入しました。このように本学は、60年余りの歴史の中で着実に発展を遂げてきました。

学習コモンズは、学生と教員による「志向性を持った学びの共同体」であり、ゼミを中心とした対話重視の教育を通じて学生の主体的に考える力を育成します。またフィールドワークを必修化し、実践的な教育にも取り組んでいます。わが国は急激に変化する社会への対応を迫られており、現代日本社会が直面する多様な課題に対応できる人材の育成について、大学が果たす役割への大きな期待と大学教育の質的転換が求められています。地域志向の大学として、大学教育の質向上と地域に貢献できる人材育成を目指す本学の取り組みについて、広く地域社会のみならず知っていただくため、この度キャンパスジャーナルを発行することにいたしました。

平成27年4月より本学は、公立大学法人奈良県立大学となり、新生奈良県立大学として建学の精神を「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」と定めました。本学の沿革は、昭和28年4月

キャンパスジャーナルの創刊にあたって



学長 伊藤 忠通



「奈良県立大学」のロゴマークは、シルクロード経由で伝わったとされる「唐草模様」のイメージで「NARA」の文字をデザインし、奈良の枕詞「青丹よし」の色である青色（緑色）と朱色、冠位十二階の最上位の色である紫色で「最高学府」に相応しい県立大学のロゴを表現しました。

制作者：東京藝術大学名誉教授・奈良県立大学客員教授
絹谷 幸二

Contents

キャンパスジャーナルの創刊にあたって

学長 伊藤忠通 1-2

巻頭エッセイ

—創成期の難しさを楽しさに転化する—

理事長 北岡伸一 3-4

観光創造コモンズ 5

都市文化コモンズ 6

コミュニティデザインコモンズ 7

地域経済コモンズ 8

奈良県立大学 シニアカレッジ 9-10

オープンキャンパス 11-12

学生の活動紹介 13-14

<表紙写真について>

新校舎「地域交流棟」屋上より

若草山を望む

創成期の難しさを、楽しさに転化する

公立大学法人 奈良県立大学 理事長 北岡伸一

奈良県立大学は、今年の4月、新しく公立大学法人となった。県のお世話になるのは同じだが、より独立性を持つて行動することが出来るし、その分、より大きい自己責任が生じる。その意味で、これは新しい大学の創設に等しい。そして、それを実際に実行していくのは、今キャンパスにいる、教員、職員、そして学生諸君である。

県立大学は、その前身から考えても新しい大学であり、また、今年設立されたと考えれば本当に出来立ての大学である。

新しいことはハンディではない。チャンスである。私は1961年に奈良市の菁々中学という中学校に入った。2年後、その上に高校が増設されて、全体で6年一貫教育の東大寺学園となった。したがって、私は東大寺学園の第2回卒業生である。今でこそ全国でもある程度知られているが、当時はまったく無名の学校だった。

第1期生が受験で結果を出すよう、厳しく勉強させられたのに比べ、我々第2期生はかなり自由に放任された。課外活動

いは、日田の咸宜園にせよ、小さな学校だった。そこで、小さいがゆえに、濃密な人間関係が成立し、先生と学生が切磋琢磨したことが、多くの人材を輩出した条件だった。

江戸時代には各藩に藩校があった。しかしそこに通えるのは武士だけ、それ以上が多かった。他方で今あげた三つの私塾はまったくそうではない。咸宜園など、三無主義といって、身分、年齢、性別で一切差別しないという原則だった。

こういう小ささゆえのメリットを、県立大学は持っている。

三つ目に理念である。県立大学の理念は、「奈良の再発見を通して日本と世界に貢献する」とした。

奈良は奈良だけの奈良ではなく、日本の奈良であり、世界の奈良である。日本の最初の本格的な首都であり、しかも中国、朝鮮をはじめとする他民族が多数居住する国際都市だった。その奈良で学び、奈良を学ぶことによつて、いろんなことが見えてくる。

幕末の先覚者、佐久間象山は、「予年二十以後、乃知匹夫有繫二国。三十以後、乃知有繫天下。予年四十以後、乃知有繫五世界。」と書いている。つまり、20歳に

は、われわれ第2期生と次の第3期生が一緒になって取り組んだように記憶する。たとえば、文化祭をどうするか、みな参加をいかに確保するか、組織、プログラム、資金、また修学旅行はどこに行くのか、生徒会ないし自治会のあり方、それぞれのクラブ活動も、まったく手探りだった。それは大変だったが、新しいものを作りだすことについて、目標が共有されれば、大きな力が出るものだ。文化祭など、

前日まで、どうなることかと思っていたが、最後は爆発的に盛り上がった。そういう創成期の難しさを、楽しさに転化する機会に、現在の県立大学生は恵まれていると思う。

県立大学は小さな大学である。しかし小さいことは必ずしもハンディではない。福沢諭吉が学んだ適塾にせよ、維新の志士を多く輩出した松下村塾にせよ、ある

なつて、自分のような普通の人間も国(当時の藩)につながっていることを知った。そして30歳になつて、天下(日本)とつながっていること、そして40歳には、五世界(世界)につながっていることを知った、と書いている。

私たちは県、日本、世界とつながっていて、県、日本、世界の動きに影響され、またわれわれの行動が、県や日本や世界に影響を及ぼすかもしれない。そのことを、みなさんは、佐久間象山の40歳を待たずして、今、知ることができるし、知らなければならぬ。

県立大学にユーラシア研究センターを設置したのも、以上と関係している。奈良はどのような諸外国と交流して来たのか。現在のわれわれはどうか。そこから何を学ぶか。いつも、日本および世界と向き合う自分というものを考えてほしいと思う。

こういう点に思いをいたせば、県立大学の前途は洋々たるものがあるように思う。





観光創造

コモンズ

- 観光ビジネス・政策
- 地域資源
- アジア・グローバル観光交流



江戸時代の伝統様式が美しく保存された橿原市今井町の集落



都市文化

コモンズ

- 都市社会史
- メディア・表象
- アート・アミューズメント



歴史的建造物を再生活用した神戸の旧居留地 38 番館

美しい風景や由緒ある寺社、ご当地グルメなど、さまざまな体験と「観光」の感動を創出するための学びの場が「観光創造」コモンズです。地域の自然、景観、歴史文化などの価値を尊重し、地域の観光力をいかに発信していくのか。ローカルにも、グローバルにもスポットを当て、新たな観光のポテンシャルを引き出す実践的能力を養います。将来は観光のスペシャリストとして、観光関連産業や行政機関で活躍するチャンスが広がっています。

学びのPOINT

1 観光に関する専門的かつ体系的な知識や分析力を習得します

観光に関わるあらゆる領域を専門的な立場から体系的に理解し、ローカルな視点のみならずグローバルな視点から思考する能力や地域の課題に対する分析力を身につけます。

2 柔軟な思考能力やコミュニケーション力、実践力を身につけます

観光はいま地域振興にとって不可欠なものとなっています。地域の抱える問題に対して、あらゆる人々と協力し問題解決に向けて新たな観光を創造できる実践的能力を培います。

3 観光産業や行政、各種団体において活躍できる人材を育成します

現在、わが国の観光立国の施策において、観光産業や行政などでの中心的な役割を担える人材が求められています。実践的能力とリーダーシップを兼ね備えた観光のスペシャリストを養成します。

「都市文化」を形づくる街並み、ファッション、ショッピング、アート、娯楽、スポーツ、グルメ：にぎやかで楽しいイメージが浮かんできませんか。私たちが魅了され、居場所を求めてきた都市文化はどのように形成され、今後いかに発展していくべきなのか。「都市文化」コモンズではその課題に歴史学と社会学の両面から向き合います。新たな時代の都市文化を創造する力は、行政、企業、地域づくりなど多様な進路に通じています。

学びのPOINT

**1 今を問うことは歴史を紐解くこと
都市文化の発展の道筋を理解します**

近世から現代まで、都市文化は多様な展開を遂げてきました。各時代を記述した文献を精読し、変化を引き起こした因果関係や背景を考察し、都市文化の歴史に迫ります。

2 メディアやアートから都市文化の特徴や問題にアプローチします

都市はメディアやアートによって表象され、そこに示されたイメージから強い影響を受けています。社会的な視点から両者の関係を考察し、課題を抽出する力を磨きます。

3 都市文化の創造に取り組むための豊かな感性と構想力を育みます

都市文化の魅力を高めるための諸方策を立案する構想力や、柔軟な発想と鋭い感性をもとに異なる文化要素を結びつけて、新たな価値を生み出す創造力を培います。



学びのOneシーン



アジア・グローバル観光交流分野演習

グローバルな視点から観光を捉えて勉強しています。神戸や横浜の異人館・旧居留地あるいは中華街など、日本における海外交渉の歴史過程や遺産がどのように観光資源化しているのか。国際観光はもとより、国内の観光についてもグローバルな視点での分析を進めています。



地域資源としての公園を調査

明日香村での地域活動



学びのOneシーン



創作演習B

グループワーク形式によるアート作品やワークショップ、アートプロジェクトの企画制作を体験します。企画立案や広報、展示、記録などの手法を学ぶと同時に、それらを通じて都市の現実社会やコミュニケーションのあり方を考えます。



アニメやマンガの舞台になった神社を取材



創作演習で企画したワークショップを体験

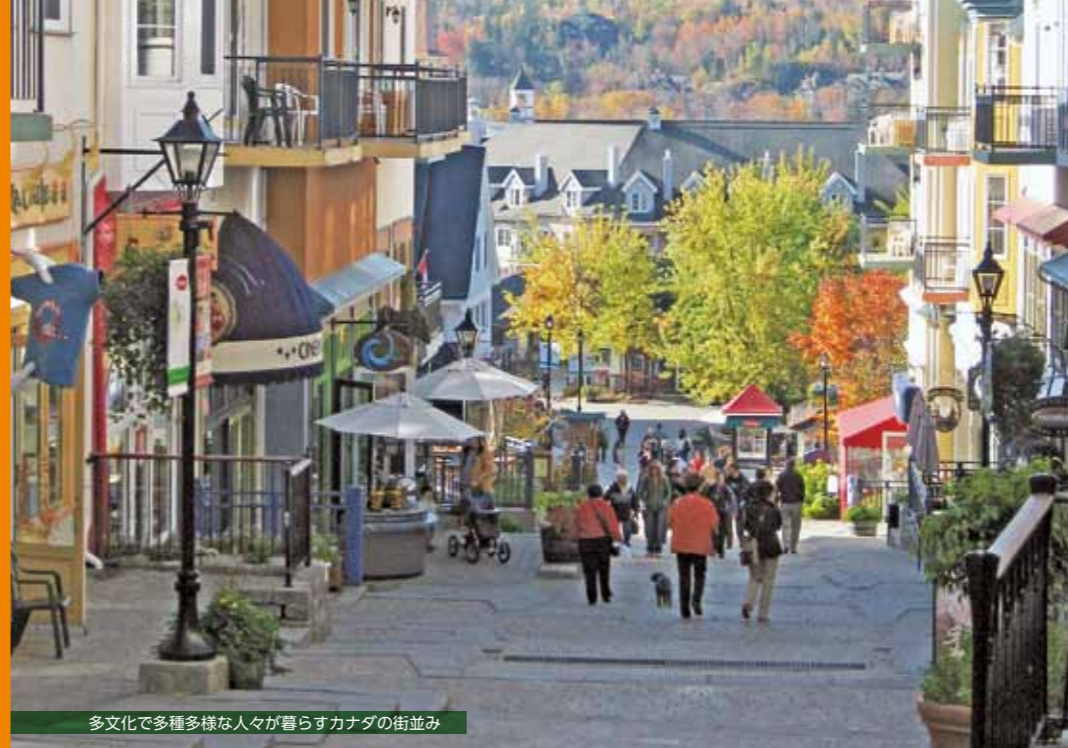


大阪梅田駅前のビル群



地域経済 コモンズ

- 地域経済
- 地域産業
- 流通・マーケティング



多文化で多種多様な人々が暮らすカナダの街並み



コミュニティデザイン コモンズ

- コミュニティ政策
- 持続可能なコミュニティ
- 共生・協働のまちづくり

少子高齢化、過疎化など複雑な問題を抱える地域社会は、「住み手とともに地域課題を見出す力」や「人や地域に潜在する活力を引き出す力」を持った地域創造の担い手を求めています。こうした要請に応えるため、「コミュニティデザイン」コモンズでは、積極的に奈良県内外の都市部・農山村部へ飛び出し、地域の真のニーズを把握するとともに、人々とともに持続可能なコミュニティのあり方やその方策について考え、協働できる人材を育成します。

学びのPOINT

1 持続可能な地域コミュニティのあり方と公共部門の役割や仕組みを考えます

奈良県内の都市と農山村において、地域の住民や行政などさまざまな主体による活動に参加しながら、持続可能な新しいコミュニティのあり方や公共的な仕組みについて考察します。

2 地域コミュニティの福祉の課題を地域とともに考え対策を提案・実践します

地域コミュニティにおいて、子どもから高齢者・障がい者まで、あらゆる人々にとってより良い生活とは何かを地域の人々とともに考察し、提案・活動していきます。

3 国内や海外の多文化共生コミュニティのより良いあり方を考え実践します

国内はもちろん海外においても、多様な文化的背景をもつ人々が共生できる地域コミュニティのあり方について、現地での調査と実践活動をもとにして研究を行います。

地域は生活の場であり、生産、雇用、消費、流通といった経済活動の場でもあります。地域の自立が試みられる中、それを可能にするためには経済的な自立が必要です。「地域経済」コモンズではグローバル、ナショナル、ローカルなレベルの市場、地域経済を左右する産業構造、人口構造などから、地域の経済的自立と持続的発展の可能性について学び、豊かな発想と行動力で地域の未来のために活躍できる人材を育成します。

学びのPOINT

1 グローバルな視点から地域経済を学びます

経済活動における国際的な相互依存関係は近年ますます高まっています。多国籍企業の動向や各国政府による政策を把握したうえで、地域経済に関わる諸問題を考察していきます。

2 生活者の視点から地域経済を学びます

地域は人間生活の場です。人々が幸せな生活を維持できるように、生活者の視点から生産、雇用、消費、流通といった地域における経済活動について理解する力を身につけます。

3 地域経済の仕組みを学びます

人口構造、産業構造、市場構造など、さまざまな視点から地域の構造について学び、どのような仕組みの中で地域における経済活動が営まれているかを理解する力を身につけます。



学びのOneシーン



共同研究を構想

社会科学・人文的な調査研究の基礎的な方法を身につけることを目的に演習を行います。「世界をみる」から「世界を知る」に、「世界を知る」から「世界を理解する」に展開するにはどうすればよいか。目標に到達するためのフィールドワークとライブラリワークの方法を考えて実践します。



合宿先でのワークショップの様子

桜井市本町通りでのフィールドワーク



学びのOneシーン



国際経済・経営分野演習

戦略的相互依存関係を分析するゲーム理論の基礎を理解・習得することを目標に、グループ形式で発表・ディスカッションを行っています。テキストに出てきた事例以外に、自分の身の回りの日常的な出来事をゲーム理論でどのように解釈できるかなどを議論しています。



「経済地理学」の講義 (地図帳とテキストを読み込む)

工場見学



奈良県立大学 シニアカレッジ

現役を退き、自由な時間ができたシニア世代の中には、今なお学びへの意欲をもった方達が大量おられます。

「社会人としての経験をした今だからこそ、学びたいものがある。」「進学や就職のためでなく、純粹に知識を得るために学びたい。」「通う場所があり、同じ志の人と共に学ぶ喜びを得たい。」「このような方々の要望に応えることは、大学の地域貢献の一環であると考え2014年度より開講し2年目を迎えています。」



受講生の交流

講義以外の時間に自主的な予習・復習を行うグループや、気の合う仲間との登下校など、共に学ぶことにより受講生同士の交流も芽生えています。

<英語アドバンスト受講:中谷さんからの一言>

再び学ぶ機会を得たことは学生時代に戻ったようで大変嬉しい気分です。毎週、他の受講生の皆さんと交流するのが非常に楽しいです。私のクラスは英語を勉強しており、現在は秋華祭(奈良県立大学学園祭)でコーラスを披露すべく懐かしのEnglish Songsを練習しています。私達の脳は鍛えるほどに若返るようですよ!



修了式

3月には1年間の学びの締めくくりとして修了式を実施する予定です。

修了証書を手にし、共に学んだ仲間と語らう姿は世代を問わず素晴らしいものであります。



秋華祭



「世代を超えた交流」をめざし、秋華祭(奈良県立大学学園祭)への参加も呼びかけ、今年も参加に向けて取り組んでいます。



特別講義



幅広い分野にふれてもらうため、通常講義のほか多様な特別講義を実施しています。



通常講義



国語総合、古典、日本史、世界史、英語アドバンスト、英語ベーシックの6講座、本校である奈良県立大学と中南和分校である畝傍高校、全12クラス、612人の受講生が新たな学びの場で大変に意欲的に学ばれています。



開講式



平成27年度の開講式は、中南和分校として実施する県立畝傍高等学校にて行いました。そのほかシニアカレッジの開講にアイデア、ご尽力を頂いている奈良県立医科大学臨床教授である岡本新悟先生の基調講演を行い、これから1年間の学びへのスタートを切りました。

Open Campus 2015

平成27年 8月8日(土) 10:00~16:00



8月8日(土)オープンキャンパス当日は予想を大きく上回る327名の方の来場がありました。

炎天下でしたがトラブル等なく大盛況のなか無事に終えることができました。ご来場いただいた皆さま誠にありがとうございました。

今年のオープンキャンパスの学生企画は、学校の変化に対応した様々なモノを用意しています。企画の根底にあるのは、「自分たちがオープンキャンパスに来て、どうしたら県大の魅力が伝わるのか?」という疑問です。

一つ一つの企画に学生の想いが込められています。学生の「奈良県立大学愛」の伝わるオープンキャンパスです!

実行委員長 3回生 三原 ひとみ



キャンパスツアー



キャンパスツアーでは、学校内の施設を学生ガイドがツアー形式で紹介します。学生がガイドするので、学生生活の色々なことも聞けますよ!出来たばかりの地域交流棟も案内します!学校内の施設について詳しく知りたい方には、おススメです! 3回生 森川 真美

駅案内



「駅案内」は近鉄・JR奈良駅から大学までを担当します。矢印の看板を持ったスタッフが皆様の大学までのアクセスをサポートします。大学までの地図も用意していますので、大学までの案内はばっちりです。 2回生 坂本 亘規

フリートーク



フリートークブースでは資料や案内など、どこにも載っていない大学生の生の声をお届けします!大学生活や、受験、コンモズ制など気になる事が多いかと思しますので、受験生の悩みに、全て大学生が答えます。 2回生 山本 彩加

スライドショー



学内紹介では、主に「学生の目線から見た奈良県立大学」をテーマとして、大学内の様々な要素を、写真を交えてスライドショー形式でお話させていただきます。県大の魅力を一杯詰め込んでいます。 3回生 田中 利樹

コモンズ活動紹介



各コモンズの紹介を行います!各コモンズの学生代表に詳しい活動を教えてもらいます。どのようなことをしているのか、まだまだわからないことも多いコモンズ活動。それを学生から聞くことができる貴重な時間だと思います!コモンズって何?どんなことをしているの?と疑問に感じている部分を少しでも知ることができる機会になると思います! 2回生 杉山 由夏

小冊子&メッセージ



小冊子&メッセージは新しいオープンキャンパス企画です。小冊子は学生が自主的に企画・運営を行っているプログラムを紹介したり、模擬講義の詳細を載せるなどした、オープンキャンパスのためだけの冊子です。より効率的で有意義な過ごし方の一助となると共に、県大生の積極的な活動を知ってもらえればと考えています。

また、メッセージはオープンキャンパスで「入試時の自分宛てに書いて貰ったメッセージ」を入試当日に掲示する企画です。入試当日とそれまでのモチベーションアップに貢献出来ればと思います。 3回生 上野 知世子

掲示物



掲示物企画では、奈良県立大学に初めていらっしゃる方が疑問に感じているコモンズのこと、学内団体のことをご紹介するポスターを作成し、掲示します!「4つのコモンズのゼミの様子や、他の大学にはない個性がキラリと光る学内団体の活動内容をぜひ知ってほしい!」という想いで作成しました。この企画を通じて、アットホームで和気藹々(わきあいあい)とした雰囲気のある奈良県立大学のことを発信できればいいなと考えています!! 3回生 石原 由理

桃本



桃本とは、現一回生の受験(センター・二次・推薦)に向けた勉強法や体験談、ほか新入生に向けた先輩の生の言葉を掲載している冊子です。受験の時に必ず役立つ内容が満載です。 1回生 小森 祐里奈



10:40
16:00
教員による
入試・教育等の
個別相談会



11:30
13:30
大学生協
屋敷販売

10:00
16:00
図書館内公開



10:50
13:35
各コモンズ模擬講義
学生による大学紹介

10:10
10:40
大学の概要説明
入試説明



10:00
10:10
学長挨拶

オープンキャンパス
タイムスケジュール

Club activities



そーいんぐ
+
zickzack同好会
(手芸部)



そーいんぐ+zickzack同好会とは、いわゆる手芸部です！小物や雑貨・アクセサリーから洋服など、自分の好みや技術にあわせて好きなものを作って活動しています。

秋華祭(奈良県立大学学園祭)では毎年、メインステージでファッションショーを行って、演出を自分で考え、手づくりの衣装を発表しています。手縫いが苦手な人は勿論、ミシンの使い方や糸編み方がわからない人も初心者からはじめられ、趣味の合う人とは合作をしたりすることもあります。むしろ手づくり感が残るぐらいを楽しんでいるところもあるのです。どんな人でも楽しめます！先輩後輩間の仲もとても良く、いつも楽しいムードで作業しています。今年の秋華祭ではフリーマーケットも出店し、手づくりのコースターやビーズ細工などを出品する予定なので、一目見に来ていただければと思います！



フットサルクラブ



フットサルクラブです。私達は週に2日、火曜日と木曜日の夜に体育館で活動しています。練習は試合形式を中心に行っていますが、年に数回、部内でチームを組んで大会も行い、わいわい楽しく活動しています。男女両方が所属し部員数も非常に多いため、仲の良い友達や頼りになる先輩、かわいいうち後輩がたくさんいるというのが大人気の部活ならではの良い点です。

今年は今まで以上に他大学との交流が増え、練習試合を組んだり、他大学主催の大会に参加させてもらうことが多くなり、活動の幅が広がりました。これからはますます楽しく活発に活動ができるように、練習や試合に取り組んでいきたいと考えています。



学生によるキャンパス活動

ビブリオバトル

7月16日(木)図書推進団体HONYOMO主催による「第2回ビブリオバトルロワイヤル」が開催されました。本好きの出場者(パトラー)達がテーマに基づいた自分の推薦本をプレゼンする熱いバトルが繰り広げられました。



内田賀子さん(ビブリオバトル優勝者)

「意外だね」本が好きだと言う私に皆同じ言葉を返します。学校が嫌い、勉強が嫌い。誰にも会いたくない、何もしたくない。私の味方はいつも本でした。この度、ビブリオバトルに参加させていただき優勝できたこと大変ありがたく思います。読書はインプットが多くあまりアウトプットする機会がないので、ビブリオバトルは貴重な経験になりました。

本離れが進む現代の若者はどうすれば読書したくなりますか、きつと娯楽が増えすぎた。無理強いはいませんが読書は良いです。すごく。人生を豊かにしてくれる、生活を彩ってくれる、もつと皆と本のお話したいです。

本を読もう。
もつと本を読もう。
もつともつと本を読もう。
世界というのは開かれた本で、その本は見えない言葉で書かれている。
人生という本を、人は胸に抱いている。
一個の人間は一冊の本なのだ。
生きるとは、考えることができるということだ。

これは、長田弘さんの詩「世界は一冊の本」の一節です。図書推進団体HONYOMOは、2013年に動き出した。学生の図書館利用や読書時間の減少が懸念される中で、「もつと本を身近なものにしよう」と思い学生がつくるMY本棚や、ビブリオバトルロワイヤルなどを企画しています。

「生きるとは考えること」。本というのは本来生活や学びに寄り添ってあるものじゃないでしょうか。知らなかったことを知り、自分の世界が広がる。でもすぐにはなく、いつかどこかで読んだ本の意味が分かったりもする。

せわしない世の中で、そんな本に詰まった学びの本質をHONYOMOは見つめていきたいのです。

もつと本を読もう。



主催：図書推進団体HONYOMO 代表 高木路子さん

奈良の再発見を通して 日本と世界に貢献する



施設整備基本構想
外観イメージ
(2015年6月現在の計画)

キャンパスを
一新します

 奈良県立大学

地域創造学部

Nara Prefectural University

観光創造 コモンズ

都市文化 コモンズ

コミュニティデザイン コモンズ

地域経済 コモンズ